

# 東京都商工会報

題字は、山下光一前名誉会長

2007年  
1月号

Vol.  
273

発行所：東京都商工会連合会 〒190-0012 東京都立川市曙町3-7-10 多摩中小企業振興センター内 発行人：桂 教夫  
TEL 042-525-6821 FAX 042-525-0899 <http://www.shokokai-tokyo.or.jp/> 印刷所：明誠企画株式会社



- ないよう
- ◆ 新年のご挨拶 平成19年 年頭所感
  - ◆ 2006年多摩経済サミットを開催
  - ◆ 三宅島で観光立島シンポジウムを開く
  - ◆ 経営指導員のスキル向上を目指した「パワーアップ研修」をスタート
  - ◆ 平成18年秋の叙勲
  - ◆ 手綱を緩めず商工会等改革を進展
  - ◆ 「中小企業活力強化大会」を開催
  - ◆ 相次いで地域サミットを開く
  - ◆ 年男 抱負を語る

## ■ 「多摩経済サミット」、観光立島シンポジウム ■

「多摩経済サミット」ではダイヤモンドシティ・ミューによる交通渋滞を解消するよう求めたほか、都営団地建て替えの影響緩和、新規創業を呼び込むための工場アパート建設、容積率見直しによる工場スペースの確保—など様々な要望や意見を出しました。国、都の今後の対応が待たれます。一方、三宅島での観光立島シンポジウムでは火山を売り物にしようという提案がありました。危機管理の重要性が叫ばれている今、そのモデルの場所にとり、時代を読んだプランです。具体化されれば先端を行く観光地となりそうです。

(4、5面参照)

# 新年のご挨拶



東京都商工会連合会  
会長  
**桂 教夫**

新年、あけましておめでとうございます。皆々様におかれましては、ますます健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

我が国経済は今、大変、息の長い景気のもとにあると言われます。政府の統計では、経済成長が四年十カ月を記録、戦後最長の「いざなぎ景気」を超えました。しかし、中小企業景況調査では、多摩・島しょ地域は「悪化」、「横ばい」、「足踏み」の状態が依然として続き、政府発表とは大きく乖離、景気を実感するものとはなっていないません。

こうした中、私ども商工会は会員の減少、補助金の削減、少子高齢化など逆風を受けて大変、厳しい状況に置かれていることはご承知の通りです。

これに対し、商工会、商工会連合会ではいま、商工会等改革、つまり、人事・給与制度、組織・指導体制、財政制度の見直しを進め、財政基盤の強化、会員の増強、人材の育成に努めているところであります。

地域振興においては、昨年、多摩経済サミットで、夏五輪誘致や、2013年開催の多摩国体とともに、「国際花博覧会」を誘致する活動を開始すると宣言し

ました。また、多摩地域の商工会・商工会議所で組織します多摩観光協議会では多摩の新たな観光ルートづくりに取り組み、今年三月までにはそれを検証するツアーを行うことを計画しています。

地域振興をこのように積極的に展開しています多摩地域は、工業出荷額がすでに23区を凌駕するまでになっています。大学が七十を超え、企業の研究施設、先端技術を持つ中小企業が多数集積、このことから多摩地域は将来、首都圏を牽引すると言われ、大いに期待が持たれています。

一方、島しょ地域においては悲願としてきました三宅島での「観光立島シンポジウム」を実現いたしました。昨年は同島が帰島一周年、村制五十周年に当たり、正にその記念すべき年に開催したものであり、関係機関が一丸となって三宅島の再生を話し合うことができました。

厳しい環境ではありますが、私ども商工会、商工会連合会は地域の商工業者の皆様に役に立ち、今後も地域に欠かせない経済団体としていかなければなりません。

この中で大きな役割を果たすのは商工会の最大の財産である「人財」です。このため、三カ年計画で経営指導員を全国のトップレベルにしていこうと「パワーアップ研修」を新たにスタートさせたところです。また、今年には地域の主要企業にも商工会に積極的な参画をいただく増強運動等を展開してまいります。

このように、多摩・島しょ地域の経済活性化のために、本年も二十七商工会が一丸となって事業運営に当たっていく所存であります。

結びに、本年が皆様にとりまして、良い年であることを祈念して、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

明けまして  
おめでとうございます  
平成十九年元旦

会長  
**桂 教夫**

理事  
**矢野 守**  
(国分寺市)

副会長  
**石川昌宏**  
(あきる野)

理事  
**井上敏夫**  
(日野市)

副会長  
**平畑文興**  
(昭島市)

理事  
**平塚久敏**  
(清瀬)

副会長  
**神石 實**  
(小平)

理事  
**村越政雄**  
(小金井市)

副会長  
**門井豊秋**  
(大島町)

理事  
**宮川一三**  
(西東京)

専務理事  
**坂爪正二**

理事  
**原島芳一**  
(調布市)

理事  
**深沢精一**  
(三鷹)

理事  
**町田成司**  
(福生市)

# 平成十九年

## 年頭所感



東京都知事  
**石原 慎太郎**

新年明けましておめでとうございます。皆様にとって、この一年が希望に満ち、輝ける年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

私たちが暮らす東京を核とする首都圏には日本の人口の四分の一が集中し、政治・経済・文化など様々な都市機能が高度に集積しています。そして都内には、世界に誇れる最先端技術を生み出す優秀な中小企業が数多く存在し、日本の産業を支えています。

いつの時代においても、革新的な技術が文明を動かす原動力となってきましたが、この一国にも匹敵する東京の地域力を存分に発揮すれば、日本を変え、さらには世界を動かすことも十分に可能であると思います。私は知事就任以来八年間、こうした東京の持つ限らない潜在力を解き放つため、様々な政策を国に先駆け、重層的・複合的に講じてまいりました。

東京は、戦後六十年にわたり平和を堅持してきた日本の首都として成長を続け、多くの人々が故郷として思い定めて住み、代を重ねてきたまちであります。このような住む人々の地域への愛着や洗練された暮らしぶりや都市機能の充実が相俟って、現在の東京の姿があるのです。

また、昨年夏、二〇一六年オリンピックの国内立候補都市が東京に決定しました。今後、東京をより快適で魅力的な都市として成熟させていくことは都に課せられた責務であり、モータリゼーションの時代にふさわしい幹線道路ネットワークの整備や日本の産業を支える中小企業支援はもちろん、都民の福祉と健康を守る政策の推進や次代を担う子どもたちの健全育成、さらには、全国に先んじた温暖化・ヒートアイランド対策などに引き続き積極的に取り組んでまいります。

オリンピックは、日本の存在感を世界に示す絶好の機会であり、私たち日本人が失いかけていた自信をこの手に取り戻すためにも、東京が持つ都市の力と日本の底力を存分に発揮して全力で取り組んでまいりますので、皆様一人ひとりの力をオリンピック招致に結集していただきますようお願いいたします。

正にこれからが正念場となりますが、オリンピック開催を目指す十年後の東京の姿をしっかりと見据え、今後とも東京発の独自の取組と改革を積み重ねながら、我が国に「日はまた昇る」勢いを取り戻していきたいと思っております。

理事  
才神 芳美  
(東久留米市)

理事  
山下 三郎  
(東村山市)

理事  
加藤 政治  
(東大和市)

理事  
浅沼 孝彦  
(八丈町)

理事  
番場 正夫  
(稲城市)

理事  
向笠 幸雄  
(羽村市)

理事  
栗原 昭一  
(瑞穂町)

理事  
前田 萬治郎  
(新島村)

理事  
中村 千代澄  
(神津島村)

理事  
波多野 章裕  
(都青連)

理事  
廣瀬 可世子  
(都女連)

監事  
栗山 昇  
(狛江市)

監事  
松田 昭男  
(武蔵村山市)

監事  
原田 貞男  
(日の出町)



## 2006年多摩経済サミットを開催

# 国際花博、誘致活動開始を宣言

多摩地域のものづくりやまちづくり振興で活発に意見交換

多摩地域の商工会長、会議所会頭が一堂に集い、地域の活性化策について話し合う「2006年多摩経済サミット」が十一月二十四日、立川市内のホテルで開かれ「国際花博覧会」を誘致する活動を開始する宣言を採択しました。また、サミットでは伊藤達也元金融担当大臣が基調講演で「民間・地域の力を活かした国づくり」について所信を述べ、これを受けて多摩地域のものづくりやまちづくり振興について活発に意見を交わしました。

多摩地域の商工会長、会議所会頭が一堂に集い、地域の活性化策について話し合う「2006年多摩経済サミット」が十一月二十四日、立川市内のホテルで開かれ「国際花博覧会」を誘致する活動を開始する宣言を採択しました。また、サミットでは伊藤達也元金融担当大臣が基調講演で「民間・地域の力を活かした国づくり」について所信を述べ、これを受けて多摩地域のものづくりやまちづくり振興について活発に意見を交わしました。

主催者挨拶をした桂教夫会長は「政治と産業界、それぞれの面がキツチリと相提携する中でこれからの21世紀の多摩づくりに向けて我々も努力をしていきたい」と述べました。

来賓挨拶をした島田健一・産業労働局長は「多摩のポテンシャルの高さを痛感している。皆様と忌憚のない話しをし、今後の都の行政に反映させていきたい」、宮崎章・幹事長は「多摩で一番大きな課題は横田基地であろう」と述べました。

産業労働局長ら、都議会から三田敏哉自由民主党三多摩支部連合会会長、宮崎章東京都議会自由民主党幹事長ら五人、関係機関から高橋功・東京都中小企業振興公社理事長を来賓に



東京都の東を挨拶する来賓  
島田健一・産業労働局長

「そのことを認識して新しい産業戦

略や地域活性化戦略を立てていくことが非常に重要」と話しました。

意見交換では会長や会頭が次々と手を上げ、事業環境の厳しさや、変化を指摘、改善を強く求めました。数多く指摘があったのは武蔵村山市の日産村山工場跡地にオープンした

当連合会、三宅村商工会は十一月

六日、東京・三宅村の三宅勤労福祉会館で三宅村制五十周年、帰島一周年を記念して「平成十八年度観光立島シンポジウム」を開きました。

三宅村での観光立島シンポジウムは平成十二年の雄山の噴火で計画していた開催が中止された経緯があり、悲願としてきたものです。それだけに感慨の深い開催となりました。

シンポにはほぼ会場がいっぱいとなる約百五十人が参加。基調講演、パネルディスカッションを通じて三宅島を再生させるための観光の方向

## 三宅島で観光立島シンポジウム 「火山を逆手に観光振興を！」

悲願の開催を実現

を熱く話し合いました。

主催者挨拶をした桂教夫・当連合会会長は「どうしても(三宅の)皆様方に希望を持って生き生きと頑張っていたいただきたい」、また、浅沼基・三宅村商工会会長は「国や行政から大きな支援をいただくことになったのも観光立島シンポの大きな力ではなかったか」と話しました。

来賓挨拶をした平野祐康・三宅村村長は「三宅島は昭和に入って四回も大変なダメージを受けている。これを逆手に取って、生かしていかな

ダイヤモンドシティ・ミューの交通渋滞の影響で、「青梅街道、旧青梅街道が全く機能しなくなった」とするとともに、それを解決するために「上北台から早くモノレールを延伸してほしい」といった要望が出されました。

サミットは国営昭和記念公園を含む周辺国有地を候補地に、多摩地域に「国際花博覧会」を誘致する活動を開始することを最後に宣言。この宣言で終了をしました。(1面参照)

平成18年秋の叙勲  
采えある受章おめでとございます



旭日双光章 橋本 賢一

(前日の出町商工会会長、前東京都商工会連合会理事)

喜びの言葉

この度平成十八年秋の叙勲に際しまして、はからずも、旭日双光章を拝受致し身の引締まる思いでございます。皆様方の公私にわたるご支援、ご指導の賜ものであり心から御礼を申し上げます。  
今後はこの榮譽に恥じないよう、一層精進を重ねてご芳情に報いたいと思っております。変わらぬご支援、ご交誼を賜りますようお願い申し上げます。

ントはない」、長澤徹・東京都三宅支庁長は「観光産業の再生について参考となるアイデア、提案を期待している」と述べました。  
「地域再生！島で生きていこう！」をテーマに基調講演をした藤村望洋

経営指導員のスキル向上を目指した「パワーアップ研修」をスタート

当連合会

会員皆様の様々な経営相談や支援の要請に応える体制をさらに強固にしていけます!!。当連合会はこのため経営指導員のスキルを数年を掛けて抜本的に向上させていきます。これは各都道府県連の中でも、顕著な優れた指導員集団を構築したいという桂教夫会長の悲願に基づくものです。  
具体的には経営指導員、専門経営

氏(地域再生マネジャー)は商店街でリサイクル事業などに取り組み、見学者が全国から訪れるようにした体験を紹介、各界や地域を繋ぐネットワークづくりが活性化の秘訣だ、と話ししました。藤村氏はこの上で、三

指導員、商工会指導員約九十名を対象に「パワーアップ研修会」と銘打って五日間の研修を実施します。当連合は現在、人事・給与制度、組織・指導体制、財政制度など各方面に亘って改革を進め、この改革で職員能力開発を大きな課題としており、研修はこの改革の一環でもあります。研修は会員の皆様の経営環境が大

宅に対しては「危機管理をテーマとした観光を展開したらどうか」と提案をしました。

シンポではこの後、「人・モノ・自然 三宅島に生きる！」をテーマにパネルディスカッションを行い、田中悠紀

大きく変化していることから、この変化に即応した高度な専門知識を身に付けるとともに、経営者の皆様と経営上の問題点をスムーズに対話できるコミュニケーション能力を磨くことを主眼としています。  
研修の内容としては①経営革新を実践としている経営者と創業経営者の講話②コーチングの実践やロールプレイング等の役割分担を通しての経営者とのコミュニケーション能力の構築③実務に沿った事例問題を通してのグループ討議や、質問コーナーを設けての全員参加型の実務研修などです。今年度は三回実施。経営指導員はこの中から一つを選んで受講をします。



真剣な眼差しで講義を聴く

今年度は三回実施。経営指導員はこの中から一つを選んで受講をします。

子・三宅村商工会女性部長、飯沼義仁・同青年部長らがパネリスト、村上康・同主席経営指導員がコーディネーターとなり、避難生活から帰島して一年の実態、島の課題、力を入れている事柄などを話し合いました。(1面参照)

商工会女性部全国組織化40周年記念式典を開く

全国商工会女性部連合会、全国商工会連合会は十月二十六日、東京・品川の品川プリンスホテルで「商工会女性部全国組織化四十周年記念式典」を開きました。当日は全国の女性部連合会から部長をはじめ会員二千三百人が参加、四時間に亘って四十周年を盛大に祝いました。  
式典では国歌、女性部の歌を斉唱、誓いの言葉を全員で発した後、及川ユキ子・全国商工会女性部連合会会長が式辞を述べました。

この式辞で及川会長は「部員の減少で女性部は存続の危機にある」とし、この危機から抜け出すには「自ら動き出し、地域を活性化させるとともに、十五万人の部員が一つの束になることです」と話しました。



中小企業の活力を最大限に発揮できるように、政策を推進してもらおう、と国並びに都の十九年度の予算編成が始まるのを前に当連合会、東京商工会議所、東京・丸の内会、都議会の先生方にて是非、お伝え願いたい」と訴え

九実行項目は次の通りです。  
 ①降格制度導入に伴う給与格付等基準設定②昇任試験制度の見直し③人件費補助金の配分方法の見直し④

「中小企業活力強化大会」を開く  
 活カ強化大会」を開きました。当日は来賓に自由民主党、民主党、公明党の関係国会議員、都議会議員を迎える中、次々と主催者代表が演壇に立ち、意見発表をするとともに、四項目を決議しました。  
 四人の代表のトップを切って演壇に立った当連合会の桂教夫会長は「中小企業予算が十分でないのは中小企業の皆様方が政治に向き合っていないからだ」とし「リアルタイムな情報を地元の国会、都議会の先生方にて是非、お伝え願いたい」と訴え



十一月三十日、東京・神南のNHKホールで開かれた全国商工会連合会、都道府県商工会連合会、市町村商工会主催の「第46回商工会全国大会」は、全国から三千余名が結集、

## 桂会長が意見発表

### 「中小企業活力強化大会」を開く

夫会長を開き、平成十七年七月に取りまとめた「更なる改革実行に向けて」で主に十九年度以降に実行を予定してきた三分野六改革事項九実行項目の具体策を決めました。

勤勉手当成績率加算配分方法の見直し⑤中小企業診断士資格等取得制度化⑥関係団体等との職員派遣研修の制度化⑦職階制ガイドラインの見直し⑧コスト管理の徹底⑨新たな収

組んでいます。今回、十九年度以降実行予定の具体策を取りまとめたことで商工会等改革はより骨が太いものとなります。

大会では国歌斉唱の後、清家孝全国連会長が「広域的連携、広域的組織運営や職員の資質の向上等を実現し、小規模事業への支援事業を一層高めていくことは今こそ必要」などと大会会長挨拶。

## 手綱を緩めず商工会等改革を進展 19年度から実行へ

分野七改革事項二十七実行項目を取りまとめ、現在これに基づいて取り

①小規模企業支援事業の確実な執行・支援体制の再構築②中小企業政策、税制・金融制度等の拡充③均衡あるまちづくりへの支援と地域間格差の是正④会員増強運動等の取り組み強化⑤商工会同士の合併・広域連携等による支援機能強化」が決議五項目です。

壇上に政府・政党の代表、衆・参国会議員らが居並ぶ中、中小・小規模政策に対する意見を表明、政策の拡充などを求める五項目を決議しました。

益事業の促進強化。

商工会等改革については平成十七年七月に「商工会等改革実行・更なる改革実行に向けて」として三

# 相次いで地域サミットを開く

西東京は「地域の安全と地域振興」、東村山市は「観光振興と産業活性化」がテーマ

## 西東京商工会

は十月十九日、市内のクール田無で「地域の安全と地域振興」をテーマに「第三回地域経済懇談会」を開きました。懇談会には坂口光治西東京市長、中岡利徳田無警察署署長ら西東京市の行政、教育、安全、運輸などの責任者二十二人と商工会から宮川一三会長、桂

教夫・当連合会長ら十二人の合わせて三十四人が参加、どうすれば地域の安全が守られ、地域を活性化させていけるかを探りました。懇談会では宮川一三会長が「皆様の意義のあるご意見を聞きながら商工会としてもさらに、勉強をしてい

## 東村山市商工会

は十月二十六日、東村山市内のJA東京みらい東村山支店で「観光振興と産業活性化」東村山の地域資源を考える」をテーマに「第19回東村山サミット」を開きました。サミットには市長、市議会副議長、国会議員、消防署長、郵便局長、青年会議所副理事長、農協副組合長ら市内の政界、行政、主要機関の責任者らと、商工会から山下三郎会長をはじめとした役員、当連合会から坂爪正二専務理事ら全部で五十人が参加。

観光振興と産業活性化のために何が資源となり、それを活かしていくにはどのような方法を取れば良いかを考えました。

サミットでは山下三郎会長が「歴代の会長が積み上げてきた商工会の



東村山サミット



地域経済懇談会

587企業・団体が688小間に出品  
産業交流展2006が開催

発展を今、さらに羽ばたかせたい。今日は東村山の前途を担うような気持ちで進んでいきたい」と主催者挨拶。細川一男東村山市長が「東村山はあと三年も経てば大きく変わっていく。そんな夢が膨らんでいるところだ」と出席団体代表挨拶をしました。



産業交流展2006実行委員会（委員長島田健一・東京都産業労働局長）、当連合会など主催の「産業交流展2006」が十月十九、二十の両日、東京・有明の東京ビッグサイト（東京国際展示場）で開かれました。同展は首都圏の中小企業が自慢の技術・製品を展示、新しい販路を開拓するのが狙いです。九回目となる今回は、出展者数、出展小間数とも前年の実績を大幅に上回り、五百八十七企業・団体が

三條・燕、相模原地域も参加  
「第7回ビジネスフェア」

が参加、出展小間数も六百八十八小間を数えました。海外から出展があったのも今回の特徴です。同展としてはこれまでに無かったことで韓国、台湾、ベトナムの企業十二社が加わりました。十二社は公募をした結果、参加を表明してきたものです。

首都圏産業活性化協会、西武ニューリーダーズクラブ21は十一月一日、東京・西新宿の新宿NSビルで「さらなる成果とさらなる発展」をテーマに「第7回ビジネスフェア fromTAMA」を開きました。当日は午前九時から地下一階ホールで来賓に脇本眞也経済産業省関東経済産業局長、桂教夫・当連合会会長らを迎えて開会式を行い、脇本局長、桂会長らが挨拶。テープカットを行いました。

同展は企業間のネットワーク構築によるビジネスチャンス拡大の支援を目指しており、今年は出展企業の地域が増え、三條・燕地域（新潟県）と相模原地域（神奈川県）が新たに加わったのが特徴です。

# 本年は大事な年

小笠原村商工会 会長 鯉江 満

新年明けましておめでとうございませう。帰島が叶いました三宅村商工会の皆様も、昨年十一月の三宅村観光立島シンポジウムの時のような笑顔で、復興に向け新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

小笠原村は日本で最初に日の出る最東端の島、南島

島(マーカス島)、また、かつて話題となりました最南端の島、沖ノ鳥島等を含め、東京から南へ一千キロ、さらに南北一千キロ、東西一千七百キロの太平洋上に散在する三十余りの島々でございませう。

昭和四十三年、アメリカよ

## 年男 抱負を語る



り返還され今日まで復興及び振興の基盤整備の中、伊豆七島と同様に観光立島を目指す様になっております。かねてから小笠原は固有種が数多くあることから「東洋のガラパゴス」等と呼ばれ、本年はユネスコの世界遺産登録の申請が行われる予定となっております。稀有な自然を

持続可能な範囲で利用するというエコツアーリズム推進に、当会としても協力していきたいと考えております。また本年は、島内の経済団体が当商工会への統合を検討するなど、大事な年となることと思われれます。最後に東京都商工会連合会の皆様のますますのご発展、ご多幸を祈念して、挨拶とかえさせていただきます。

2月16日(金) - 17日(土)  
**「第6回たまた工業交流展」**  
 多摩地域の技術や製品を一堂に展示  
 国営昭和記念公園

たまた工業交流展実行委員会は二月十六、十七の両日、立川市の国営昭和記念公園緑の文化ゾーン花みどり文化センター及びゆめひろばで「出会いから発展へ 多摩の技術141」をキャッチフレーズに「第六回たまた工業交流展」を開きます。

同展は多摩地域の中小企業の持つ優れた技術や製品を一堂に展示して製品や加工技術などを紹介することにより新規市場開拓や、受注の確保を図ることと、地域工業の振興を指して開催します。

出展は①機械・金属・電気機器②情報関連・ソフト開発③環境関連④その他製造業⑤学校関連、協力団体と大きく分けて五分野となります。今回は百四十一企業(予定)が自慢の技術や製品を展示、紹介をします。当連合会もブース(シニアアドバイザーセンター)を出し、経営革新や、創業などについてご相談に応じていきます。また、初日の十六日は基調講演とマッチング交流懇談会も開きます。

## 多摩・島しよ地域のイベント

大特集 Part 13 (1月-2月)

日 程	イベント名	会 場	内 容	問合せ先
1月 27日(土) ~ 3月26日(月)	椿展	元町船客待合所	椿の多品種を展示します	大島観光協会 04992-2-2177
	椿プラザ	大島公園内	大島民謡と手踊り	
	椿の一刀彫り	元町 藤井工房	椿の木や枝でお好みの一刀彫り体験	
	夜まつり 2月23日~3月25日	元町船客待合所	スーパーあんこ娘とダンスパフォーマンス。御神火太鼓他	
2月 16日(金)、 17日(土)	第6回たまた工業交流展	国営昭和記念公園 みどりの文化ゾーン 花みどり文化センター	多摩の中小企業の持つ優れた技術や製品を一堂に展示し、受注の確保、情報交流等を図る。	たまた工業交流展実行委員会 042・525・6951